１１年度第2四半期（累計）決算説明資料

2011年11月1日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

130th Anniversary

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

本日のご説明内容

1．第2四半期累計期間決算
- 1-1）セグメント情報
- 1-2）営業利益の変動要因
- 1-3） P/Lの概要
- 1-4） B/Sの概要
- 1-5） キャッシュフローの概要

2．通期業績予想
- 2-1）サマリ
- 2-2）関連情報

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

セグメント情報　サマリ

■第2四半期累計の業績は、売上高が情報通信セグメントを主体に増収。営業利益は、物量増や変動原価の改善などにより7期ぶりの黒字化達成

【対前年同期比較】

- 売上高は、25億円の増収（為替影響▲14億円、実質39億円の増収）
  - ・情報通信セグメントは、ATMおよびATM運用・監視サービスの増加や社会システムでの10年度からの期ズレなどにより増収
  - ・プリンタセグメントは、為替や欧州景気停滞の影響などにより減収
  - ・EMSセグメントおよびその他の事業は、市況回復などにより増収
- 営業損益は、72億円の改善（うち、為替による増加9億円）

（単位：億円）	11年度		前年同期		前回（7/29）公表	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	1,089	44	1,047	13	1,070	35
プリンタ	554	△18	586	△49	555	△20
EMS	155	5	148	5	155	5
その他	87	14	79	8	80	10
消去・本社費	—	△31	—	△34	—	△30
合計	1,884	15	1,859	△57	1,860	0

ATM：Automated Teller Machine　EMS：Electronics Manufacturing Service

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

セグメント情報 【情報通信】

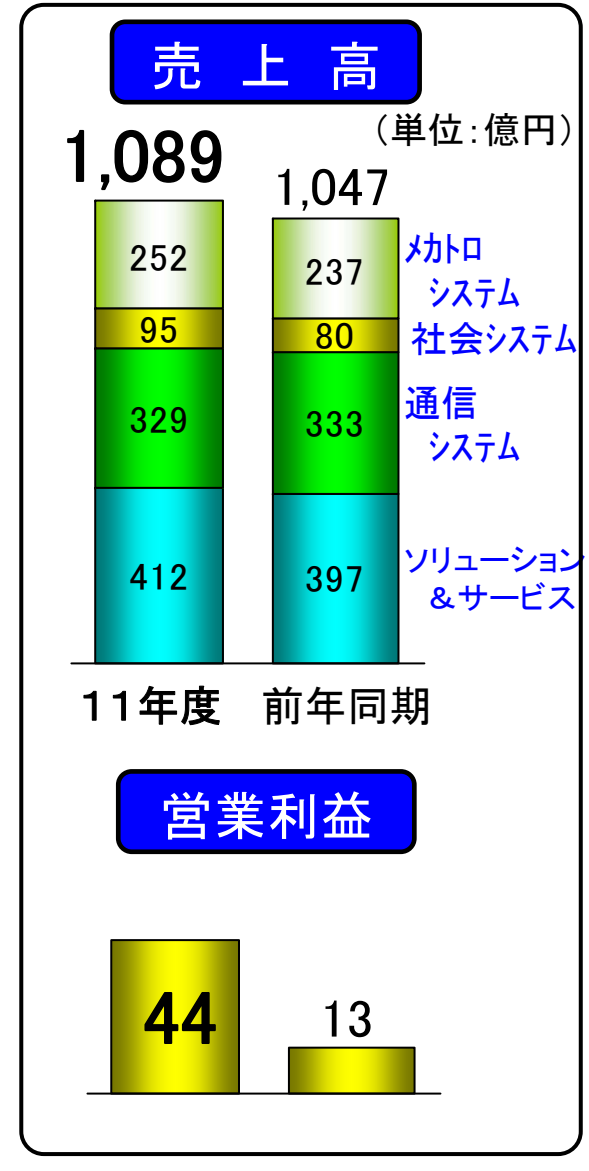
売上高

- ソリューション＆サービス：
  ATM運用・監視サービスなどの増加により増収
- 通信システム：
  光回線開設増に伴いGE-PON販売台数増、ホームGWも堅調
- 社会システム：
  防災システムなどの10年度からの期ズレなどにより増収
- メカトロシステム：
  国内向けおよび中国向けATMは堅調
  金融端末なども増加

営業利益

物量増に伴う限界利益の改善や機種構成差などにより
31億円増益

GE-PON ：Gigabit Ethernet Passive Optical Network　　GW：Gateway



© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

セグメント情報 【プリンタ】

■ 為替による影響

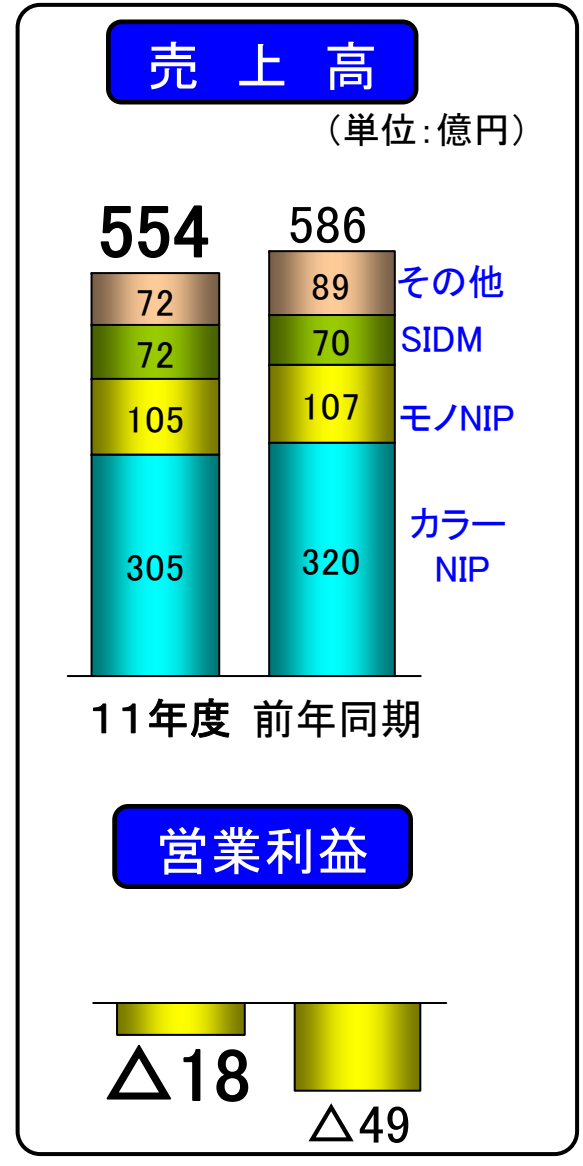
➢売上高14億円減収、営業利益8億円増益

■ 売上高：為替影響を除き18億円減収

➢カラーNIPおよびモノNIP：
主力のA4カラーおよびモノクロ新商品販売は増加
欧州景気停滞の影響などにより全体では減収

➢SIDM：
販売台数は中国の税法改正の影響などにより増加

■ 営業利益：為替影響を除き23億円改善
変動原価の改善に加え、その他販売費用の見直しや費用圧縮を継続して取り組んだことにより、価格下落などを吸収し改善



NIP：Non-Impact Printer　SIDM：Serial Impact Dot Matrix

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

セグメント情報【EMS】・【その他】

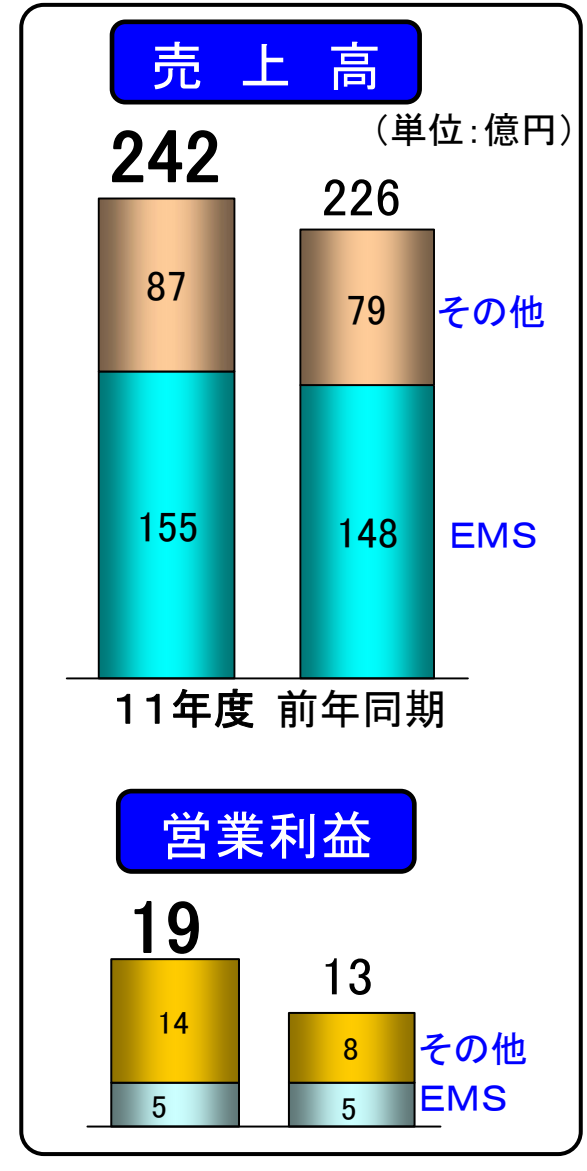
売上高

- EMS：
  ハイエンド型EMSという独自のビジネスモデルで順調に事業を拡大
  計測機器市場などで工場フルアウトソーシングの新規案件2件獲得などから増収

- その他：
  部品関連事業が堅調

営業利益

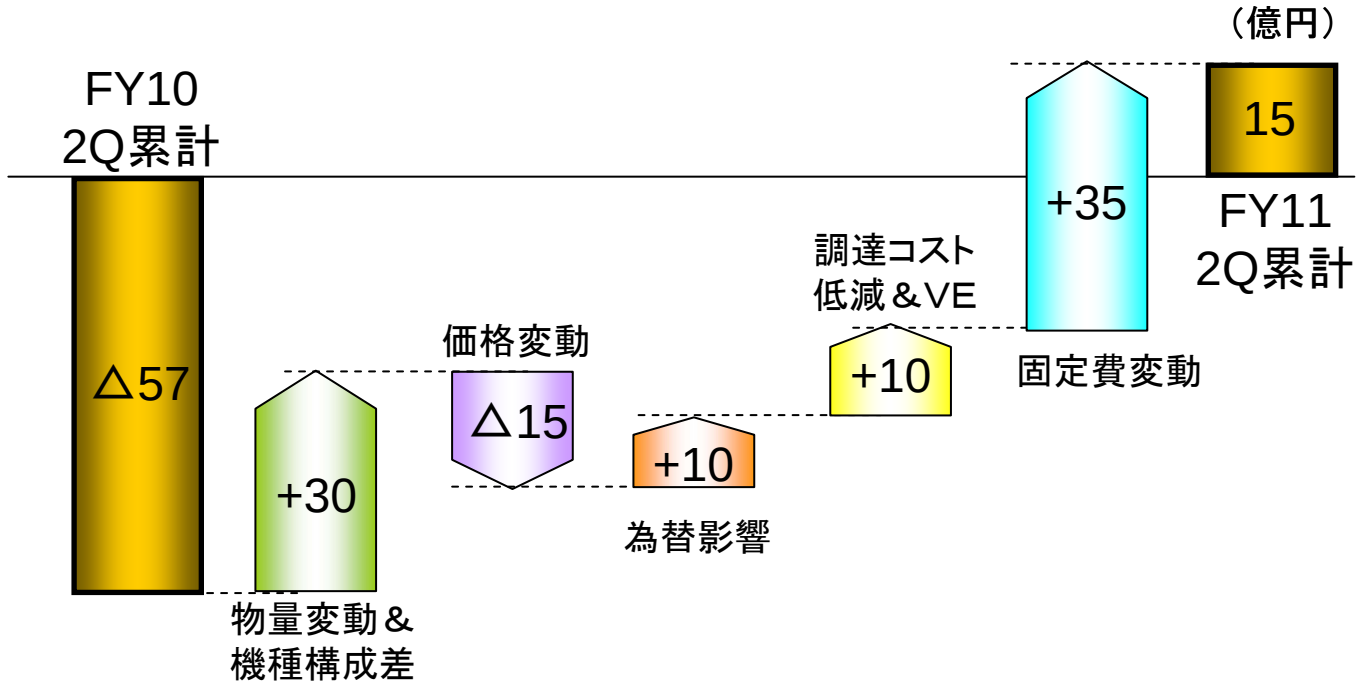
物量増に伴う限界利益の改善などにより、
6億円増益



© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

営業利益の変動要因

- 情報通信セグメントを中心とした物量増による限界利益の改善に加え、変動原価の改善や固定費削減効果およびドルの円高効果などにより、価格下落などを吸収し、対前年比72億円改善



© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

P／Lの概要

（単位：億円）	11年度	前年同期
売上高	1,884	1,859
売上原価	1,414	1,408
販管費	456	509
営業利益	15	△57
営業外収支	△23	△22
経常利益	△9	△79
特別損益	△15	△11
税引前利益	△23	△90
当期純利益	△50	△117

【対前年比較】

- 販管費は、固定費削減効果などにより減少
- 営業外収支は、支払い利息は減少するも、為替差損の増加などから前年並み
- 特別損益は、投資有価証券評価損が減少。前年には負ののれん発生益あり
  - ・投資有価証券評価損（△27→△11）
  - ・負ののれん発生益（27→0）

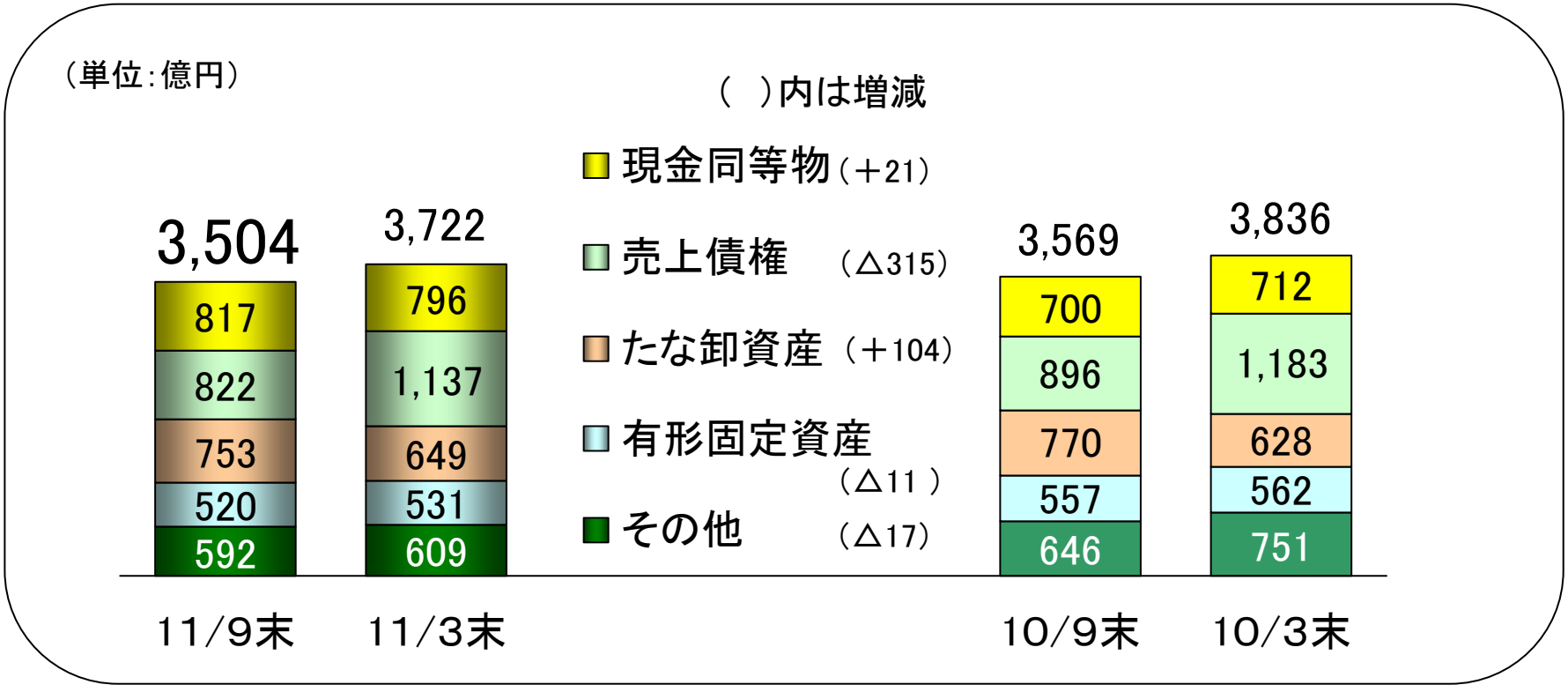
【参考：平均為替レート】

	上期実績	前年同期
USD	79.8	89.0
EUR	113.8	113.8

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

B／Sの概要 【資産の部】

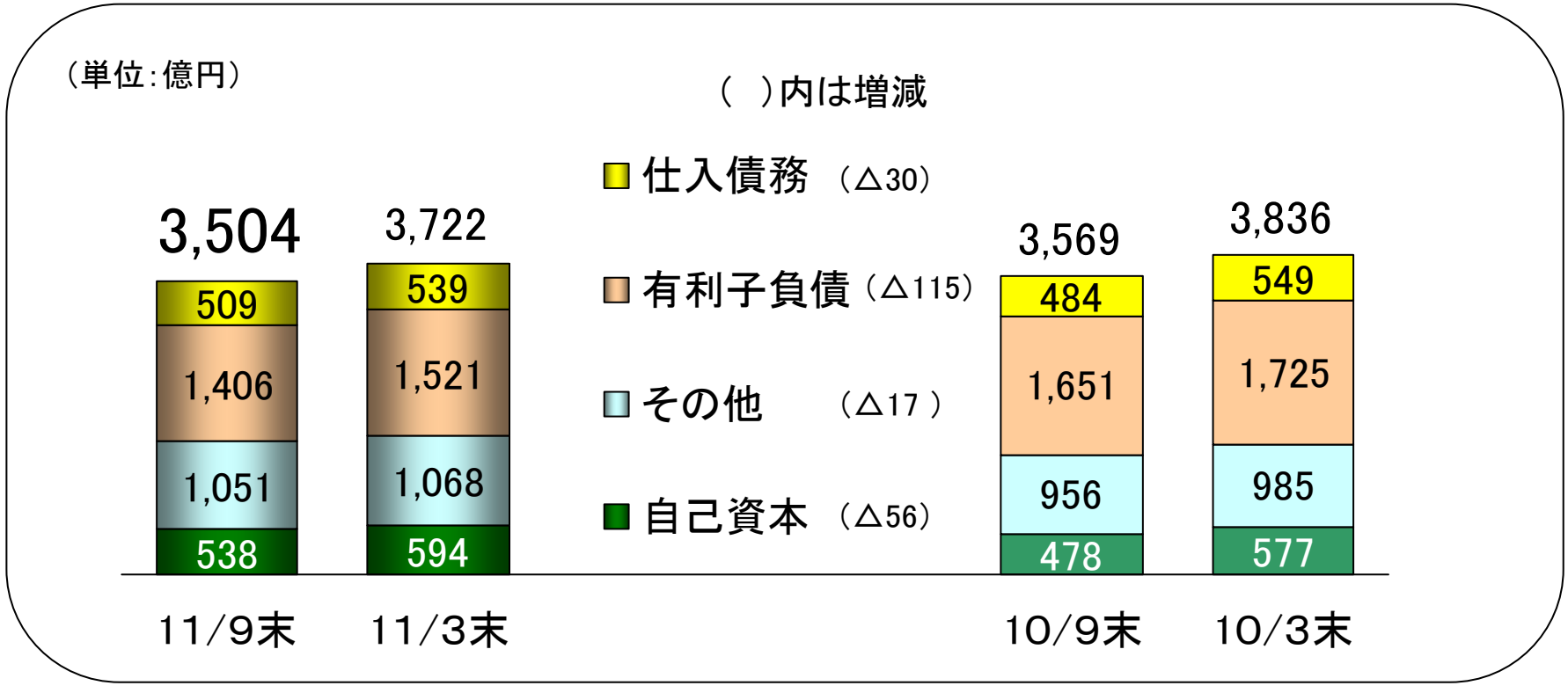
- 売上債権の減少などにより、総資産は218億円減少
- 現金同等物は21億円増加
- 例年通り、前年度第4四半期の売上高が大きいことから
  売上債権は3月末に増加し、当四半期に現金等で回収されるため9月末に減少
  たな卸は3月末に減少し、当四半期には生産平準化等により9月末に増加



© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

B／Sの概要 【負債・純資産の部】

- 自己資本は当期純損失などにより56億円減少
- 有利子負債は115億円減少。NET有利子負債は135億円減少し589億円



© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローは、当期純利益の改善などにより179億円の収入

（単位：億円）	11年度	前年同期	備考
Ⅰ 営業キャッシュフロー	179	36	
税金等調整前当期純利益	△23	△90	
減価償却費	62	70	
運転資金の増減	132	60	
その他	8	△4	
Ⅱ 投資キャッシュフロー	△49	△7	
設備投資支払額	△39	△35	
その他投資活動	△10	28	
フリー・キャッシュフロー（Ⅰ＋Ⅱ）	130	29	
Ⅲ 財務キャッシュフロー	△112	△44	
キャッシュフロー計（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）	18	△15	
現金同等物等の期末残高	817	700	

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

本日のご説明内容

1. 第2四半期累計期間決算
   - 1-1）セグメント情報
   - 1-2）営業利益の変動要因
   - 1-3） P/Lの概要
   - 1-4） B/Sの概要
   - 1-5） キャッシュフローの概要

2. 通期業績予想
   - 2-1）サマリ
   - 2-2）関連情報

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

通期業績予想サマリ

上期の業績と欧州を始めとする不透明感を増す世界経済の動向を踏まえ、セグメント毎の売上高・営業利益を見直す。

※タイの洪水被害については、影響精査中のため業績予想に反映しておりません

（単位：億円）	通期業績予想			前年同期
	※今回	前回公表	修正額	
売上高	4，360	4，360	―	4，327
情報通信	2,625	2,620	＋5	2,607
プリンタ	1,235	1,250	▲15	1,250
EMS	340	340	―	310
その他	160	150	＋10	159
営業利益	150	150	―	110
情報通信	165	160	＋5	147
プリンタ	15	25	▲10	2
EMS	15	15	―	13
その他	20	15	＋5	15
消去・本社費	△65	△65	―	△67
経常利益	120	120	―	59
当期純利益	75	75	―	△270

（参考）	下期為替前提
USD	80.0
EUR	110.0

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.

関連情報

下期計画のトピックス	➢ATM運用・監視サービスやATM－LCMサービスなどは順調に拡大 ➢光回線開設の増加によりGE－PON堅調、ホームGWも順調に拡大 ➢中国向けATMはリプレース需要も加わり堅調に拡大（11年度見込：約14千台） ➢欧州景気停滞の影響あるが、積極的な販売投資でプリンタ販売台数を拡大
売上拡大に向けた取組み	➢ATMで開拓した中国マーケット向け現金処理機の販売開始 ➢消防デジタルなど補正予算に対する提案強化 ➢NTTデータとグローバルITサービス分野で協業 ➢サクサとの共同開発による企業NW分野の新商品創出のスピードアップ
タイ洪水被害への対応状況	➢タイ生産製品は、代替生産を早期立上げ中 ✓NIP：中国（深セン工場）にて代替生産立上げ ✓SIDM：国内（福島工場）にて代替生産立上げ ➢消耗品（トナーなど）は、タイ以外での生産のため、洪水被害影響なし

LCM: Life Cycle Management

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.



Open up your dreams

© Copyright 2011 Oki Electric Industry Co., Ltd.